

私たちがめざすもの それは・・・

ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地

NPO法人水環境研究所

わきみず通信

第11号

平成24年5月15日発行



弘法井戸（館山市神余）

活 動 し ポ ー ト

佐倉学セミナー「印旛沼の自然」 （平成24年1月29日、2月4日）

1月29日、2月4日の2回にわたり、佐倉市中央公民館主催佐倉学セミナー「印旛沼の自然」と題して、講演を行いました。1回目は白鳥会員による「短い一生 印旛沼」と瀧会員による「現在の印旛沼」、2回目は今井会員による「印旛沼の水草」と岩井会員による「印旛沼の湧水と特徴」というタイトルでした。

「短い一生 印旛沼」は、湖沼学的視点から印旛沼は終末期にあり、印旛沼の誕生からの期間は琵琶湖に比較して非常に短いという内容で、これまでとは一味違った印旛沼の話でした。

また、「現在の印旛沼」では、印旛沼の現状と水資源としての印旛沼の役割と水質汚濁の問題についての話がされました。

「印旛沼の水草」では、変わりゆく印旛沼の水草の状況と水草の復活に向けどのような努力がされているのかという内容の話がされました。

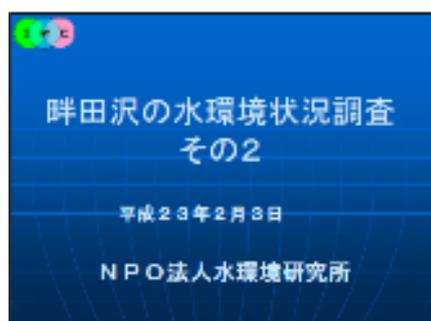
最後に「印旛沼の湧水と特徴」では印旛沼流域の湧水の特徴を地質環境や社会環境からとらえ、保全と利活用について話がされました。



印旛沼環境基金助成事業報告会 （平成24年2月3日）

平成23年8月20日、11月12日に実施した印旛沼環境基金助成事業である「畔田沢の水環境調査その2」の調査結果を、報告会で発表しました。発表は白鳥、今橋理事長の2名で行いました。右は発表したパワーポイントの一部です。

本事業は、昨年度から継続事業として始まりました。畔田沢の貴重な谷津環境が、志津霊園の造成に伴ってどのように変化していくのか、水質、植生、水生生物の視点から追跡していきます。今年度調査では、造成地の周辺で外来種の植物が数多く確認されるなど、徐々に造成の影響が現れているようです。



運営理事会だより

5月までに開催された定例運営理事会の主な議事と協議結果を報告いたします。

- (1) 5月20日に開催される総会に向けて、議案の検討が行われました。総会の案内状は郵送のほかに電子メールでも送付することとなり、電子メールでの委任状が有効になります。
- (2) 5月30日に予定されている船橋市東部公民館主催の講演会に、今橋理事長と瀧副理事長が講師として参加することになりました。
- (3) 印旛沼環境基金の助成金を今年度も申請し、昨年度に引き続き「畔田沢の水環境調査」を継続して実施することとなりました。来年度からは、印旛沼環境基金以外の団体からの助成を検討し、その情報収集を始めることとなりました。
- (4) 湧水モニタリング調査を、昨年度に引き続き実施いたします。担当する調査地点などについては事務局が原案を作成することとなりました。
- (5) 年報の発行に向けて事務局が中心になって編集が進んでいます。現在、掲載予定の原稿の校正段階に入っています。

これからの活動予定

1. **定期調査**：毎月印旛沼流域の湧水調査を実施しております。調査に参加をご希望される方は、事前に堀田和弘理事 (E-Mail : dzf01212@nifty.ne.jp) に直接ご連絡のうえ、日程、集合場所、集合時間等をご確認ください。
2. **第9回通常総会**：平成24年5月20日(日) 佐倉市志津公民館 午後1:30～
上記のとおり、第9回通常総会が予定されております。今年度は定款変更など重要な議題が含まれますので、皆様のご出席をお願いいたします。なお、今年度より電子メールでの委任状も受け付けることになりました。
3. **湧水モニタリング打合せ**：平成24年5月20日(日) 佐倉市志津公民館 午後3:00～
総会の後、引続いて湧水モニタリングの打合せを行います。今年度も新規調査地点も追加して調査を実施する予定です。どなたでも気軽に参加できますので、ぜひご参加ください。
4. **環境講座「地球と水と私と」**：平成24年5月30日(水) 船橋市東部公民館 午後1:00～
船橋市東部公民館主催の環境講座にNPO水環境研究所が講師として参加します。担当するテーマは「おいしい水ってどんな水？」 定員60名 問合せ(047-477-7171)

お知らせ

NPO設立時から、長年にわたって理事を務めてこられた後藤重峰氏が、退会されることとなりました。NPOの前身である「千葉県自然環境研究会」からずっと活動を見守ってくださり、深く感謝するとともに、後藤氏のこれからのご活躍をお祈りしたいと思います。

「わきみず通信」第11号

発行 平成24年5月15日
編集・著作 特定非営利活動法人水環境研究所
URL : <http://www.wakimizu.org/>
お問い合わせ・各活動への参加申し込みは下記まで
e-mail: office_iwe@wakimizu.org

*****編集後記*****

東日本大震災から2度目の春を迎えましたが、放射能被ばくという日本が初めて経験した後遺症に日本全体が病んでいます。エネルギー資源に乏しい日本が信頼をおいて頼ってきた原子力ですが、コントロールできなかった技術の甘さが露呈されました。しかし、今回の災害を機に、エネルギー資源について皆が考えるようになったような気がします、災い転じて福となす?となればよいですが…。そういえば、地球は寒冷期に入ったとか・・・?!
